

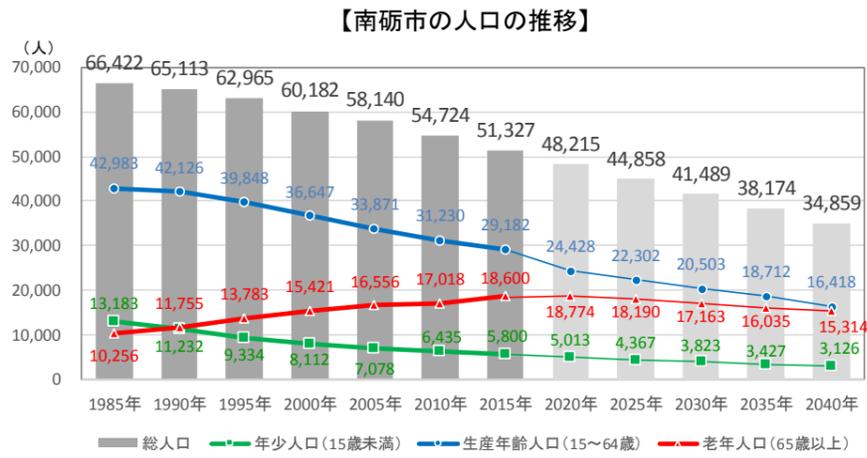
南砺市をとりまく状況について（主な統計データ）

平成31年2月24日
南砺市総合計画市民会議
資料2

1. 人口

(1) 人口の推移

南砺市の人口は減少が続いており、直近の推計人口(2015年)で51,327人にまで減少しています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、このまま何も対策を講じなかった場合の南砺市の人口は、2040年には現在の人口の6割程度である34,859人となると予想されています。



出典：国勢調査（2015年まで）、2020年からは人口問題研究所の推計値

(2) 自然動態（出生数・死亡数）の推移

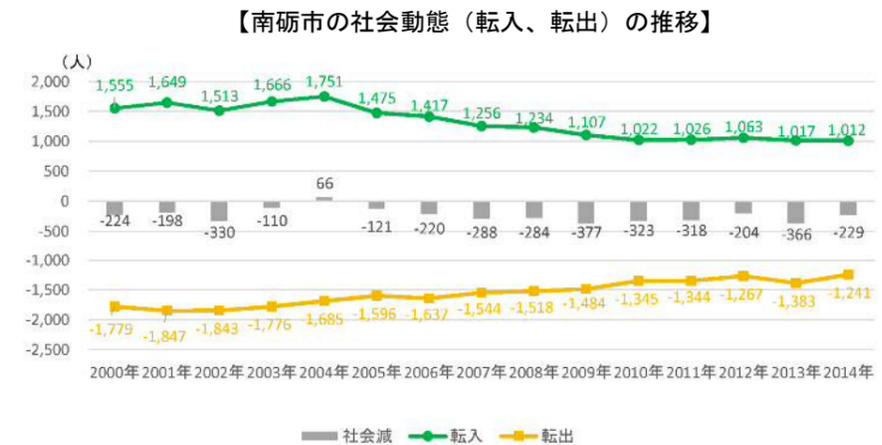
2000年以降、一貫して死亡が出生を上回っており、自然減（出生-死亡）により、毎年300~400人程度の人口が減少しています。



出典：南砺市人口ビジョン（富山県人口移動調査）

(3) 社会動態（転入数・転出数）の推移

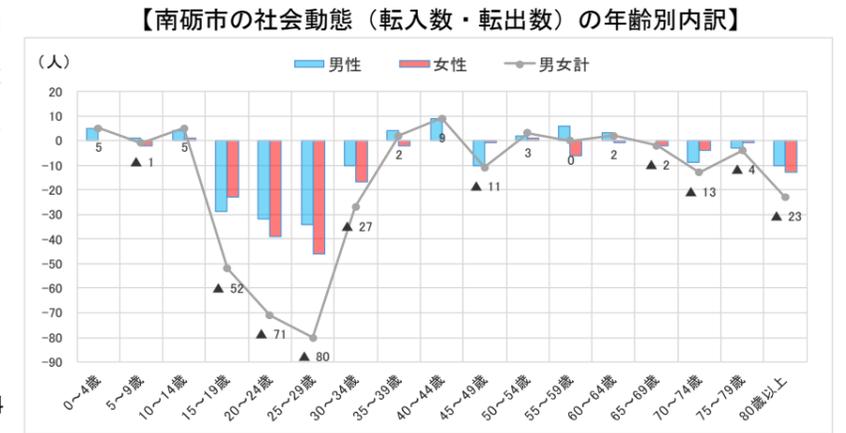
社会増減は2000年以降、ほぼ一貫して転出超過となっており、ここ数年は200~300人程度転出超過が続いています。



出典：南砺市人口ビジョン（富山県人口移動調査）

(4) 社会動態の年齢別内訳（H27）

2015年の社会変動は258人の転出超過であり、特に15~34歳までの転出超過が230人とほとんどを占めています。



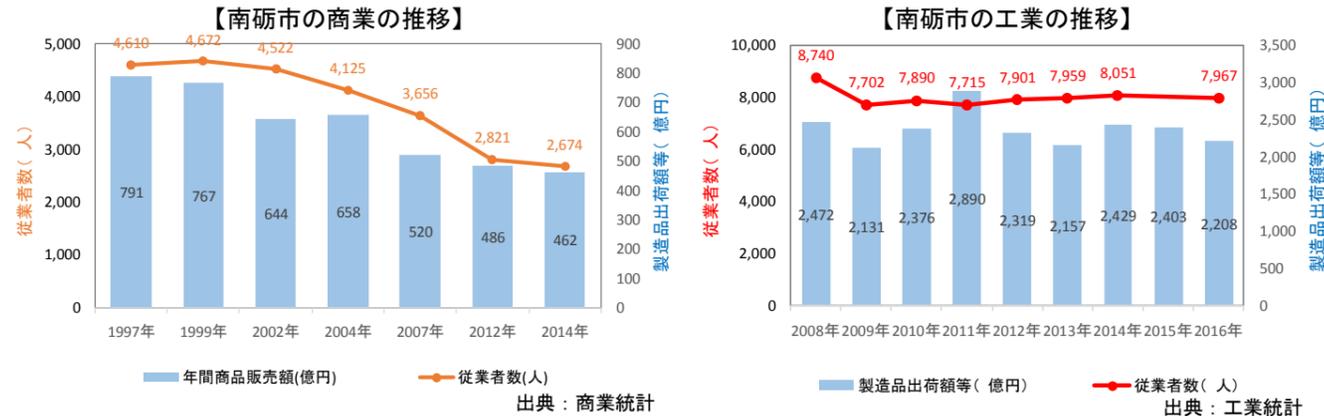
出典：南砺市人口問題特別委員会資料

2. 産業等

(1) 商業・工業の推移

商業については、従業者数や販売額は減少が続いています。

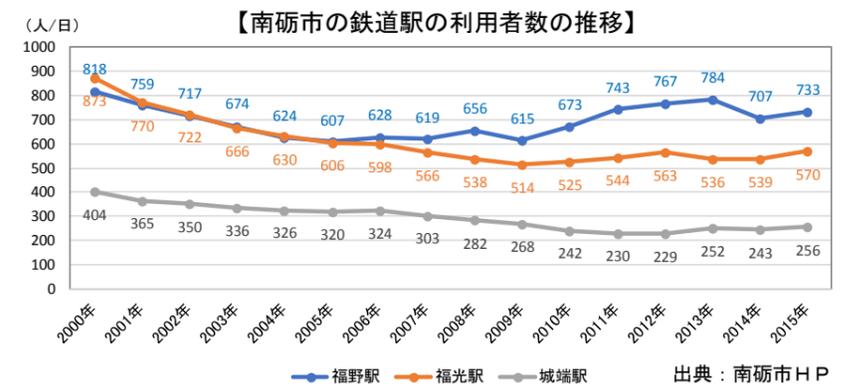
工業については、従業員数は2008年から横ばい、製造品出荷額等もほぼ横ばいで推移しています。



出典：商業統計、工業統計

(2) 公共交通（鉄道）の利用数の推移

鉄道の利用者数は、福野駅はやや増加傾向にあり、福光駅や城端駅は2009年頃までは減少していましたが、近年は横ばい傾向にあります。



出典：南砺市HP

・南砺市の人口は自然動態や社会動態のどちらもマイナスを続けており、毎年500~700人の減少となっているなど、人口の減少に歯止めがきかない状態にあります。特に15~34歳の年齢層の流出が顕著にみられており、この傾向が続いた場合、南砺市の将来人口はさらなる減少が想定されます。
・一方で、工業などについては、人口ほどの減少はみられていない状況です。